

令和5年度
埼玉県新たな地域クラブ活動実証事業
地域ミーティング（成果報告等）
令和6年1月11日（木）：川越地方庁舎

吉見町吉見中学校との連携事業その2

NPO法人武蔵丘スポーツクラブ事務局長
武蔵丘短期大学健康生活学科
健康マネジメント専攻 特任教授 太田あや子

本日の内容

1. 令和5年度実証事業の概要
2. 令和5年度吉見中学校と武蔵丘スポーツクラブとの連携事業の詳細
 - 2-1. スケジュール
 - 2-2. サッカー部の活動
第1回の内容、学生の反応、生徒の反応、
指導者の反応
課題
 - 2-3. カヌー教室の活動
内容、課題

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業(運動部活動の地域移行等に向けた実証事業)



1. 令和5年度実証事業の概要

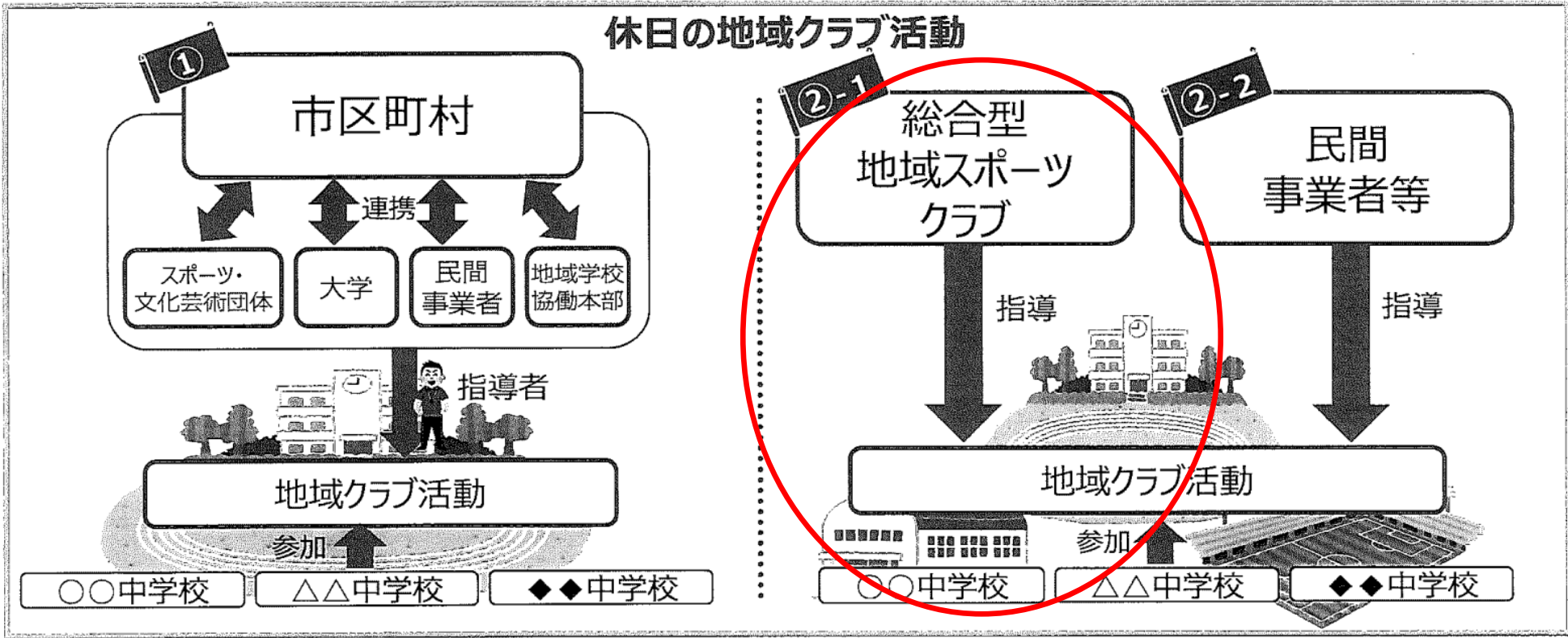


1 取組内容

- (1) 委託事業申請者 特定非営利活動法人武蔵丘スポーツクラブ
- (2) 実施主体：同上 連絡先：埼玉県比企郡吉見町南吉見111-1 武蔵丘短期大学 Tel:0493-54-5101
- 役割分担 実技指導：武蔵丘短期大学教員
栄養指導：武蔵丘短期大学教員（管理栄養士）
- (4) 活動場所 武蔵丘短期大学（体育館、グラウンド、カヌーリゾートたまよど）
- (5) 活動内容 中学1, 2年生対象
- ア 曜日・時間：土曜日 午前または午後
- イ 活動種目：バスケットボール部（女子12名）4回 12月2日、23日、1月20日、2月17日
陸上競技部（男3女1計4名）3回 12月16日、1月13日、2月10日
サッカー部（男子13名）5回 11月18日、12月2日、9日、1月13日、2月3日
野外活動：カヌー教室（男子1名）（1回：部員以外の参加可）11月19日（日）
- ウ 有資格専門指導員の指導、大学生との合同練習や体験活動、スポーツ栄養指導（1回）
- エ 11月から翌年2月までの継続的な活動
- (6) 参加費：スポーツ部活動：初回は無料 2回以降1回500円（都度払い） カヌー教室：千円

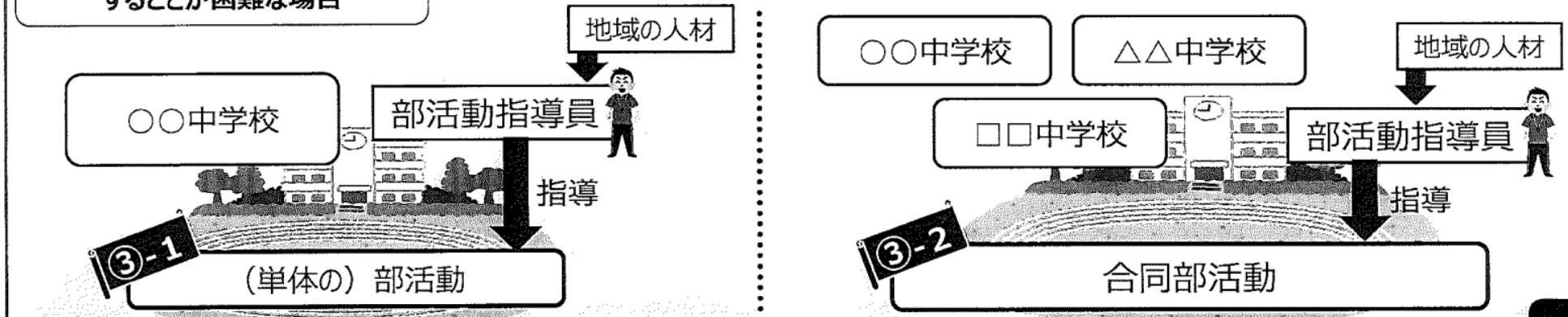


休日の地域クラブ活動



学校部活動の地域連携

※直ちに①②のような体制を整備することが困難な場合



NPO法人武蔵丘スポーツクラブ

設立 平成23年5月9日

代表理事 福島 邦男(ふくしま くにお):武蔵丘短期大学健康生活学科健康マネジメント専攻教授

会員:吉見町民他 79名

活動内容: 武蔵丘短期大学の全面協力のもと、地域自治体と連携して、スポーツ活動や健康づくりを中心に活動している。短期大学の施設、人材を活用してクラブの教室を運営するとともに、地元自治体の委託事業を受託し、毎年10人以上の教員と述べ100名を超える学生ボランティアが活動に参加している。

- ①定期教室(健康ヨガ教室週3回、骨盤ストレッチ教室月2回、女子サッカーチームシンシア週4回)
- ②子どもプール教室(7, 8月):9回
- ③吉見けやき保育所運動指導(月2回)、運動能力測定(春と冬2回)
- ④吉見町生涯スポーツ事業(親子アクティブ教室(5回)、かけっこ教室(2回)、鉄棒・跳び箱教室)
- ⑤吉見町健康づくり事業(介護予防運動、脳トレ、ノルディックウォーキング)

2. 令和5年度 吉見中学校と武蔵丘スポーツクラブとの 連携事業の詳細

2 - 1. スケジュール（令和4年）

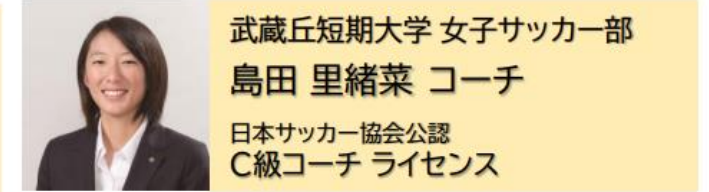
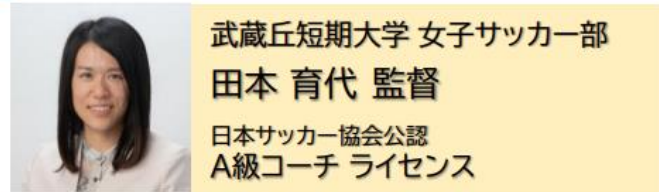
5月	短期大学指導者、関係者、中学校との打ち合わせ
6月	実施準備（書類等）
7月	短期大学教授会で承認、中学校との打ち合わせ
8月	中学校教職員への説明会
9月	スケジュール調整
10月	短期大学指導者と中学校顧問との打ち合わせ
	保護者への説明プリントと申込書配布
11月	19日（土） サッカー部第1回目の活動
	実施後中学生、保護者、学生へのアンケート実施
12月	1日（金） 第1回地域ミーティング報告（浦和）
	2日（土） サッカー部第2回目、バスケットボール部第1回目の活動
	サッカー部で救急車を呼ぶ事故（骨折）発生
	実施後中学生、保護者、学生へのアンケート実施
	9日（土） サッカー部第3回目の活動
	16日（土） 陸上競技部第1回目の活動
	実施後中学生、保護者、学生へのアンケート実施
	23日（土） バスケットボール部第2回活動

2 - 1. スケジュール（令和5年）

1月	11日（木）第2回地域ミーティング報告（川越）
	13日（土） サッカー部第4回目、陸上競技部第2回目の活動
	17日（水）第3回地域ミーティング報告（利根地域）
	20日（土） バスケットボール部第3回目の活動
	26日（金）第4回地域ミーティング報告（東松山）
	31日（水）第5回地域ミーティング報告（秩父）
2月	3日（土） サッカー部第5回目（最終回）の活動
	10日（土） 陸上部第3回目（最終回）の活動
	17日（土） バスケットボール部第4回目（最終回）の活動
	17日（土） 最終地域ミーティング報告

2 - 2 土曜日の部活動 in 短大 サッカー部

1. 内容：5回の練習
有資格指導者の指導



短大生（大学）との合同練習

2. 期間：11月～平成6年2月の土曜日5回
3. 場所：武蔵丘短期大学グラウンド
天然芝サッカー場1面、
人工芝フットサルコート2面
4. 経費：1回目は無料



2回から5回まで1回500円（その都度徴収、月謝袋用意）

サッカー部の活動

第1回 11月18日（土）10時～12時

参加者 中学生13名、短期大学生25名

内容 ウォーミングアップ

試合: 7対0で短大チームの勝利

第2回 12月2日（土）10時～12時

参加者 中学生12名、短期大学生20名

内容 パス回しと動き、混成チームで試合
(事故発生、救急車手配)

第3回 12月9日（土）10時～12時

参加者 中学生12名 短期大学生25名

合同ウォーミングアップ、
パス回しと動き
混成チームで試合



生徒のアンケート

第1回

1. 感想

思った以上に強かった。個人個人の動き、連携、声基礎ができていた。

体の使い方など勉強になった。

レベルの違いを感じた。

★大学生の技術の高さに圧倒され刺激になった。

芝のグラウンドで練習できることがモチベーションアップにつながる。

2. 学びたい技術

①パス（正確な、クロスボール）

②トラップ

③ポジショニング

★パスコントロール

第2回

1. できたこと

パス、トラップ、事前の「首振り」

2. できなかったこと

試合での攻守の切り替え、トラップの位置

3. 感想

コントロールや試合中の意識ができるようになった。

「首振り」が試合で使える

最初はうまくできないが、慣れてくるとできるようになる。

4. 次回に練習したいこと

シュート、1対1の守備

5. その他

環境が良い。練習になり、学びが身に付く

短期大学生選手、監督のアンケートから

第1回

1. 感想

- ①良い点：スピードが速い、パスをつなげている
- ②改善点：試合中の仲間同士の言葉がけ
- ③中学生が対戦相手でプレッシャーもあったが、自分たちらしくプレーできた。

★チームとして戦えていない点が多々あった。

2. 中学生に教えたこと（技術面、フィジカル面）

- ①チームで戦うこと、チームワーク
- ②足元の技術
- ③トラップの質

★サッカーの理解を深め、スキル、フィジカルの必要性を感じてほしい。

★仲間、用具、環境への感謝の気持ちやチームワークを伝えていきたい。

第2回

1. 感想

短期間で個人のレベルがあがっている
中学生が考えてプレーするようになっている
自分たちがしっかりと手本を示そうと意識した
中学生に声がけを教えることで自分自身も勉強になった
コミュニケーションをとり、名前を覚えられた

2. 中学生に教えたこと

周りを見ること
声がけすること
トラップのコツ
パスコントロールの質を高める

保護者アンケートから

1. 感想

楽しくできていた。

レベルが高いので勉強になる。

いろいろな経験ができる。

2. 学びたい技術

ボールコントロール

体幹とメンタル

守備

3. サッカー全般

取り組み姿勢（あきらめない、精神的な強さ）

4. 次回参加させたいか

参加させたい 7

理由：学べるところがたくさんある

芝のグラウンドなど環境がよ

い。

近い。

考えさせる指導が期待できる。

5. 500円の参加費

適当だと思う 6

あまりかけないで欲しい 1

2 - 3 土曜日の部活動 in 短大

バスケットボール部

1. 内容：4回の練習
有資格指導者の指導
短大生（大学）との合同練習
2. 期間：12月～平成6年2月の
土曜日4回
3. 場所：武蔵丘短期大学体育館
4. 経費：1回目は無料
2回から5回まで1回500円
(その都度徴収、月謝袋用意)

川井 明 (かわい あきら)
公財) 日本バスケットボール協会公認Bコーチ
公財) 日本スポーツ協会コーチデベロッパー



女子バス
ケット
ボール部



バスケットボール部の活動

第1回 12月2日（土）14時～16時

参加者 中学生11名、短大生7名

内容 ウォーミングアップ、パス
試合:100点ゲームで短大チームの勝利

第2回 12月23日（土）10時～12時

参加者 中学生12名、短大学生7名

内容 ウォーミングアップ、
パス回しからシュート
試合



生徒と学生のアンケートから

生徒

1. 感想

大学生の試合展開が速かった
大学生が優しく明るく教えてくれた

普段とは違う練習内容が参考になった。

2. 学びたい技術

1対1、ドリブル、
ミスした後の動き
ディフェンス

短期大学生

1. 感想

緊張していた中学生が慣れてきて楽しそうに練習していた。
教えたいことがたくさん出てきた

2. 教えたいこと

ディフェンスの連携
自分のプレーに自信を持つこと
バスケットボールの楽しさ

2-4 土曜日の部活動 in 短大

陸上競技部

1. 内容：3回の練習
有資格指導者の指導
短大生（大学）との合同練習
2. 期間：12月～平成6年2月の
土曜日3回
3. 場所：武蔵丘短期大学グラウンド
4. 経費：1回目は無料
2回から5回まで1回500円
(その都度徴収、月謝袋用意)

辻 将也 (つじ まさや)
公財) 日本陸上競技連盟公認コーチ 3



陸上競技部



第1回の内容

12月16日（土）（10:00～12:00）

中学生 8 名、短大生 5 名参加

1. ウォーミングアップ
2. ハードルを使ったトレーニング
3. 全力走
4. 指導者からの次回に向けてのコメント



2-5. カヌー教室

実施日：令和5年11月19日（日）

場所：たまよどカヌーリゾート

内容：薪割、火起こし体験

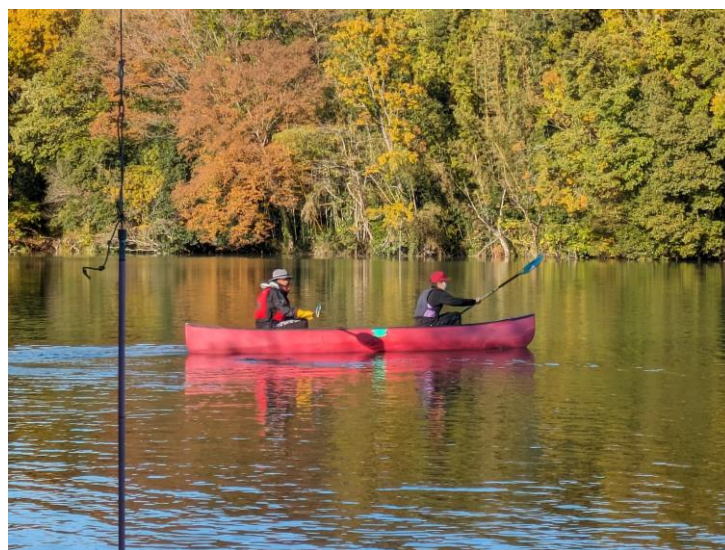
カヌー操船技術練習とカヌーツアー



- ① 準備運動後にライフジャケット装着（正しくつけているかの確認方法）
- ② 陸上でカヌーに乗り、操船のポイント、落ちる姿勢の確認、落ちるのを防ぐ方法、落ちた時の助けをもらう方法を確認
- ③ 乗船、下船の方法の確認
- ④ 湖上に漕ぎ出て、前進、後退、停止、方向転換の練習
- ⑤ ツアーに出発（天候が良かったので上流へのぼり、下流への下りの両コース110分
 - ・ 動植物を観察したり、滝を見に行ったりした

カヌー教室

指導者
福島 邦男（ふくしま くにお）
キャンプディレクター1級

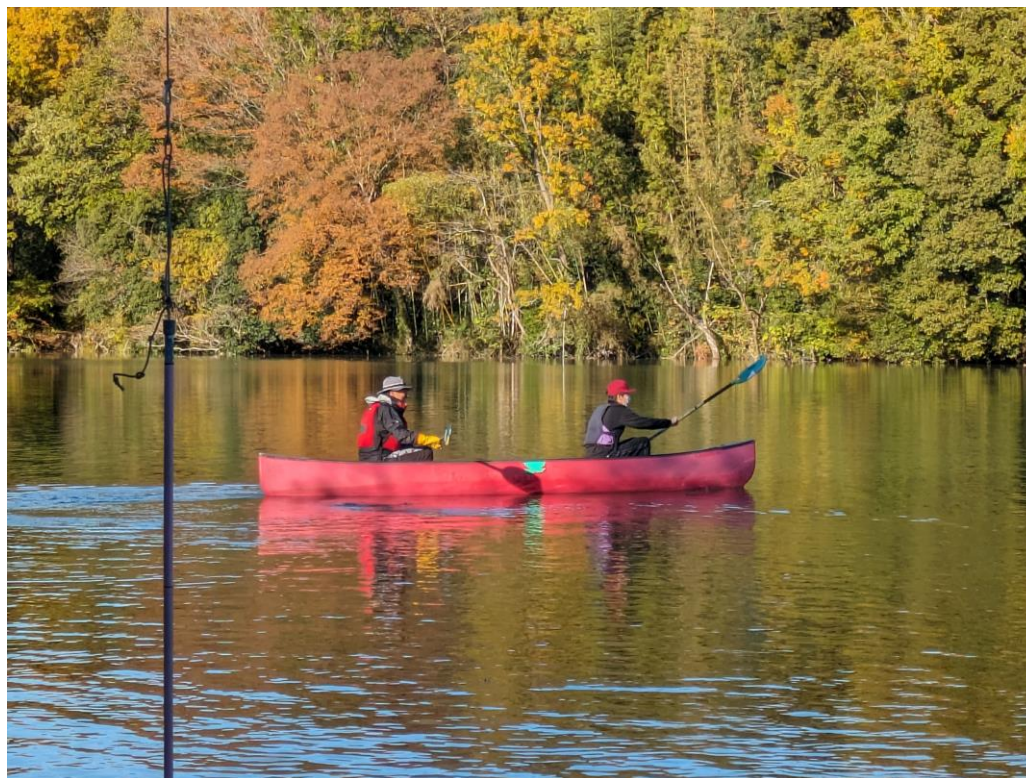


カヌー教室の様子

薪割



カヌーツアー



見えてきた課題

1. 中学校と大学のスケジュール調整
2. 有料（500円）での参加
保護者や中学生の理解が得られるか？
有償化：1時間2,000円×2時間=4,000円の指導料を得るためには
最少でも500円×8名の参加が必要になる。
月2回で1,000円、月4回で2,000円の負担感
今まで無償で指導してきた指導者の違和感
3. 事故対応 手順（フローチャート）、 連絡方法（保護者、中学校、短期大学）
4. 大学側としての課題
リーグ戦などの試合や記録会のピーク時の対応
施設使用料、管理運営
運動部活動指導者や運動部員の理解（今回は協力的）
要望の種目に対応できない場合の対処
4. 地元との連携 行政（教育委員会）、スポーツ協会、スポーツ少年団、チーム